

学術フォーラムの概要について（事後報告）

1 名 称：われわれはどこに住めばよいのか？～地図を作り、読み、災害から身を守る

2 日本学術会議以外の共同主催団体等：

後援：日本地球惑星科学連合、地理学連携機構

3 開催日時：平成 27 年 6 月 20 日（土） 13 時 00 分～17 時 25 分

4 開催場所：日本学術会議講堂

5 開催趣旨：

災害は、それをもたらす豪雨・洪水や地形崩壊、地震、津波や火山噴火などの現象のメカニズムを知り、過去の災害に学べば、軽減できる。特に、普段暮らしている地域の災害リスクを知り、適切に回避行動ができるようにする事前の備えが重要である。地形図、地質図、災害地形図、ハザードマップなどにはそのための貴重な情報が盛り込まれているが、広く一般に普及しているとは言いがたい。そこで、どのような地図情報が利用可能でそれらからどう災害リスクが読み取れるか、そして広く市民が地図情報から適切に災害リスクを読み取り、また自らハザードマップを作れるようになるには今の社会に何が欠けているなどを、地球人間圏科学的視点から議論し、解き明かして社会に発信する。

6 参加人数：

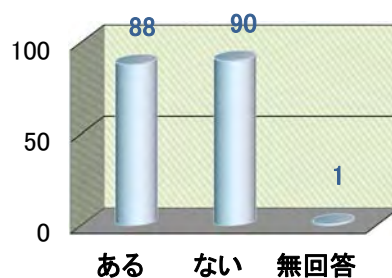
講演者等：13 名

その他の参加者：250 名

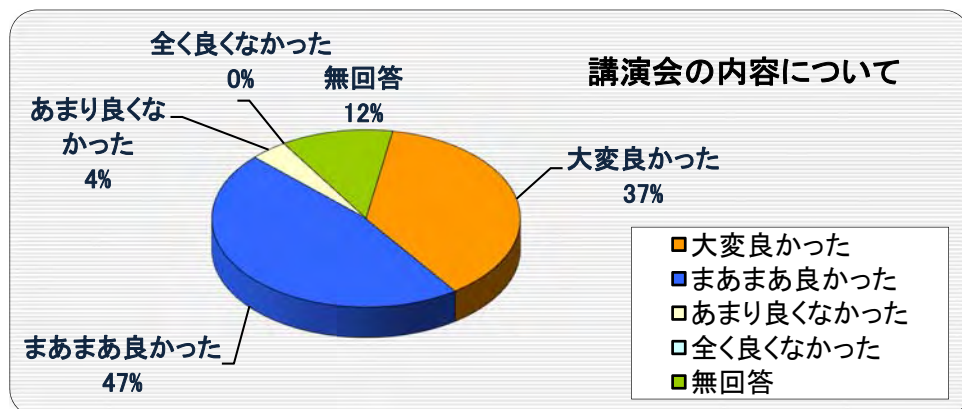
7 特記事項：

- ・予想を超える 260 名余りの参加者があり、そのほとんどが最後まで残り、議論に参加した。
- ・アンケートの回答者が 179 名(回答率 72%)と多く、次の結果が得られた。
 - ・50%が日学講演会に初参加であった。

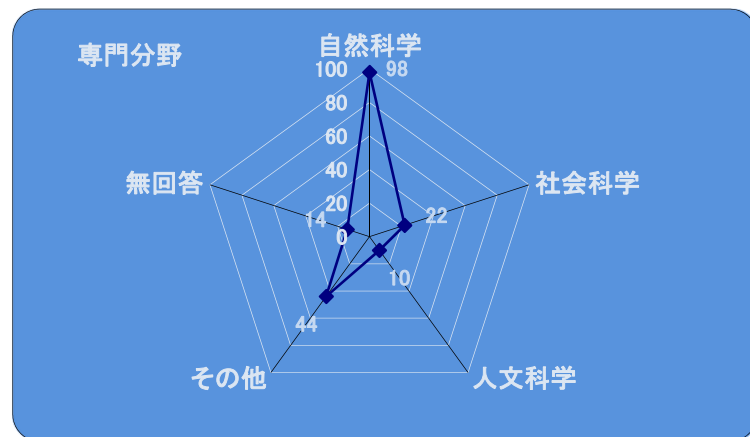
これまで日学の講演会に参加されたことは？



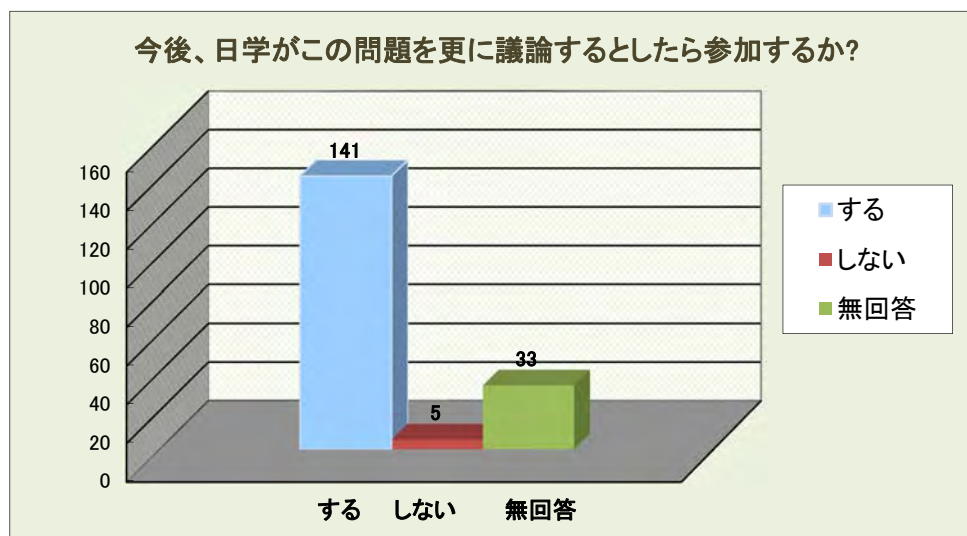
- ・講演会の内容：大変良かった(37%)、まあまあ良かった(47%)、あまり良くなかった(4%)、全く良くなかった(0%)、無回答(12%)。



- ・専門分野：自然科学(55%)、社会科学(12%)、人文科学(6%)、その他(25%)、無回答(8%) ※一部複数回答あり



- ・今後日学がこの問題を更に議論するとしたら参加するか？：する(79%)、しない(3%)、無回答(18%)



• 性別：男(80%)、女(11%)、無回答(9%)

